

プロジェクト名	教育・研究にかかわる予算制度検討プロジェクト
趣旨	本プロジェクトは、NEXT10で現在推進されている諸政策を含め、教育・研究上の諸改革を遂行し、学園の創立100周年に向けた財政基盤の再構築を実施することを目的とする。現行の大学予算を大局的な見地から検証し、限られた予算の効率的な配賦と執行を目指すものとする。
概要	<p>本学の教育・研究にかかわる予算制度は、4学部時代から現在の11学部体制に発展していく過程で、理事会と教学側との話し合いの中で、社会の要請に応えながら教育・研究の環境を整備していくことを目標として構築されてきた。しかしながら、18歳人口の減少、今後さらに入学定員超過率が低く抑えられていくといった要因、総収入の90%を学費が占めている本学の事情を踏まえながら、研究に根ざした質の高い教育を目指し、将来に向けて発展し続けていくためには、これまでの諸制度を検証し、必要に応じて見直していく必要がある。NEXT10の他の重点化プロジェクト、教育構想会議、スポーツ会議などの動きを視野に入れながら「選択と集中」の観点から臨んでいくことになる。2年ないし2年半の短期集中で現行の予算制度の点検を行い、教育・研究の向上を目指しつつ健全な財政に向けて制度設計を行っていく。</p>
基盤となる NEXT10施策	【分野/推進事項番号/施策番号】 施 策
	<p>【研究3-①】重点配分による研究助成制度の整備</p> <hr/> <p>【管理運営2-(2)-③】支出内容、配分方式を点検し、見直しを図ることにより、施設設備整備を含めた教育研究活動と財政との調和を持続する施策を推進する。</p>